

# パワー・トレンド (LAN 経由) サンプル・ソフトウェア

V 1.0

(株)アドバンテスト

## 1. パソコンにサンプル・ソフトウェア U3800 Power Trend をインストールします。

インストーラは PackageForU3800 フォルダー内にあります。

ソースファイルは Source(STD)にありますので Visual Basic から参照してください。

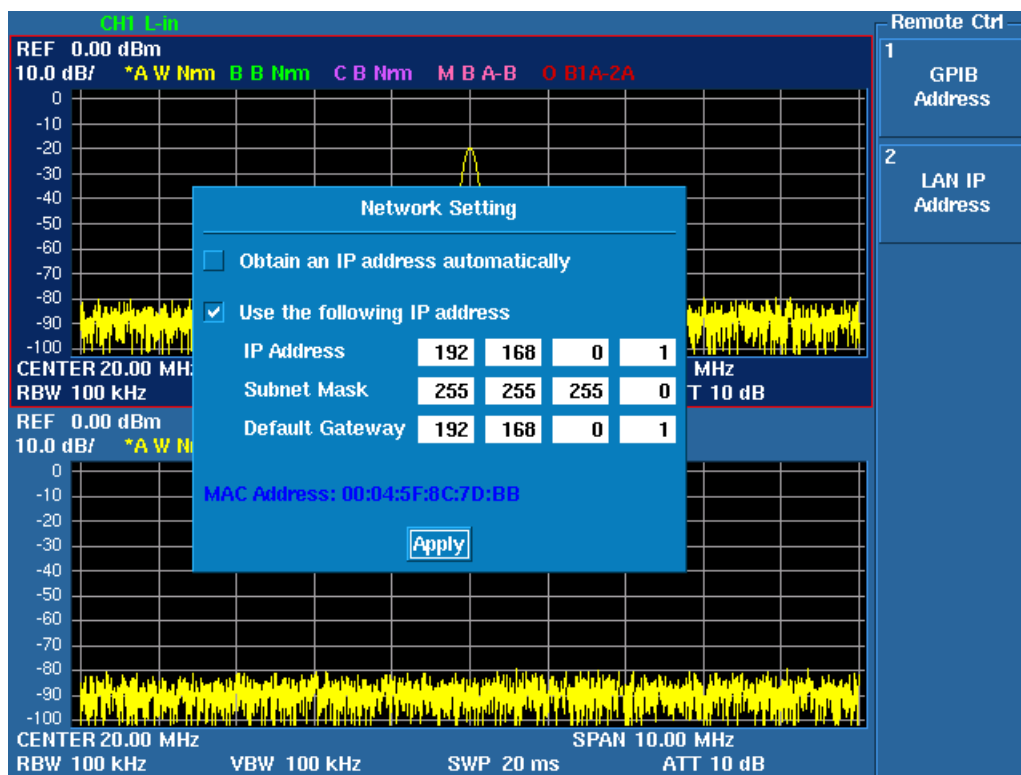
## 2. スペアナ U3800 シリーズの IP アドレスを設定します。

パネルキーから、SYSTEM – Config. – Remote Control – LAN IP Address

下記の例は、1 対 1 接続 (ローカル接続/ LAN を経由しない) の場合です。

LAN (WAN) に接続する場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

(DHCP (自動アドレス取得) は Obtain an IP address automatically を使用します)

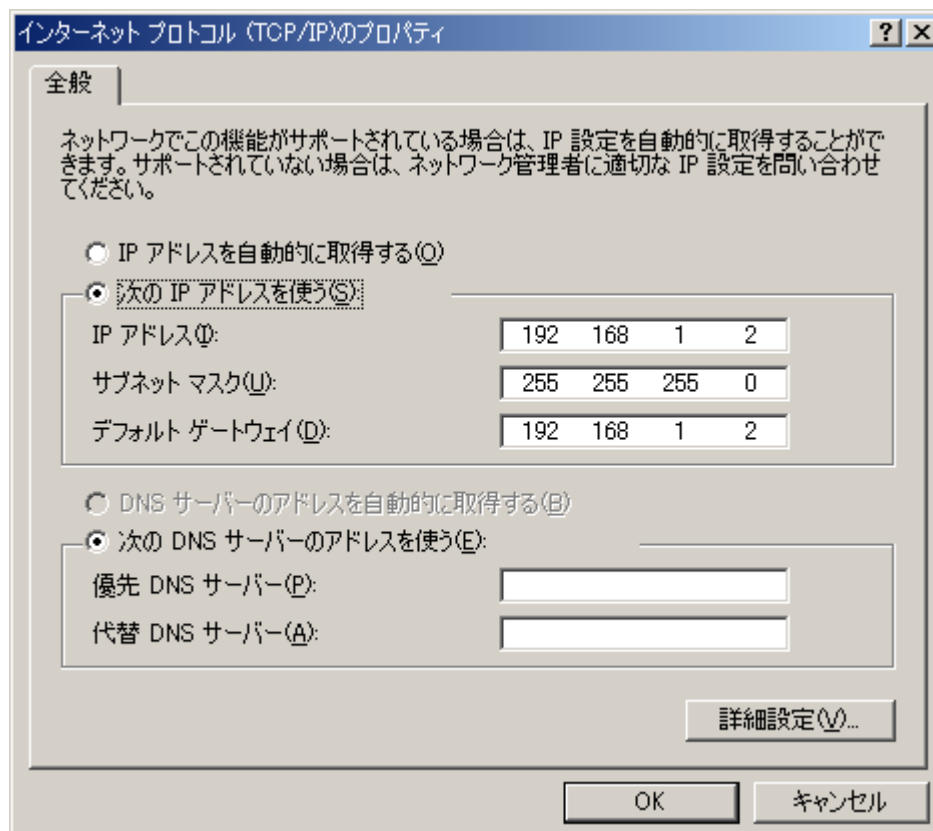
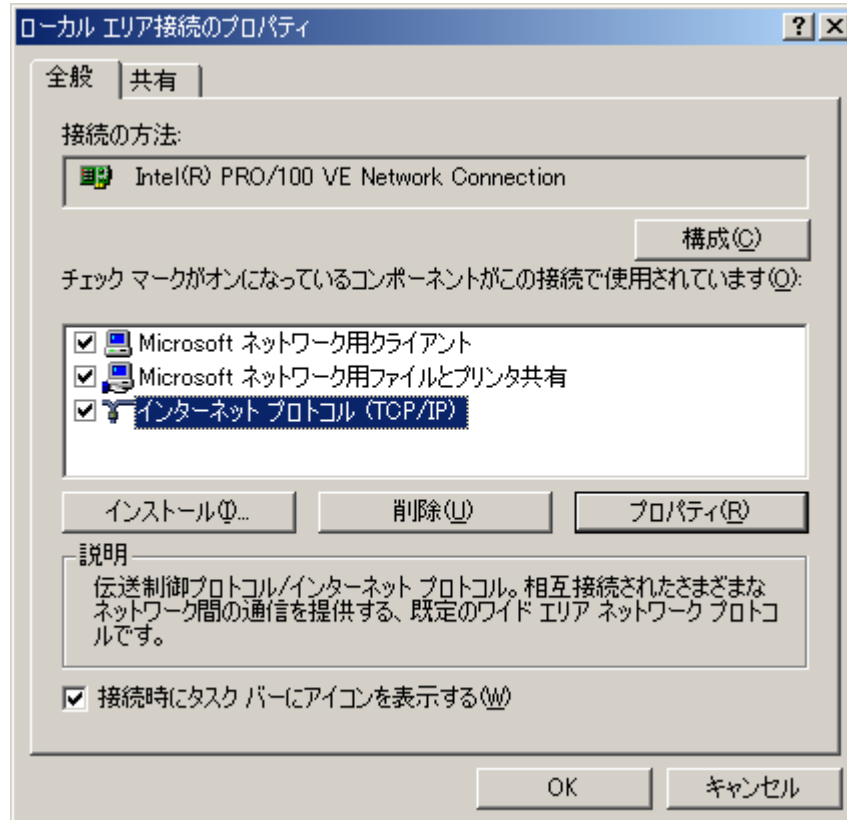


## 3. パソコンの IP アドレスを設定します。(1 対 1 の場合) LAN 接続の場合は不要です。

マイネットワーク (Windows2000 の場合)

- 右クリック - プロパティ
- ローカルエリア接続 - 右クリック - プロパティ
- インターネットプロトコル (TCP/IP) - プロパティ

IP アドレスを設定します。(スペアナ U3800 と違うアドレスにします)



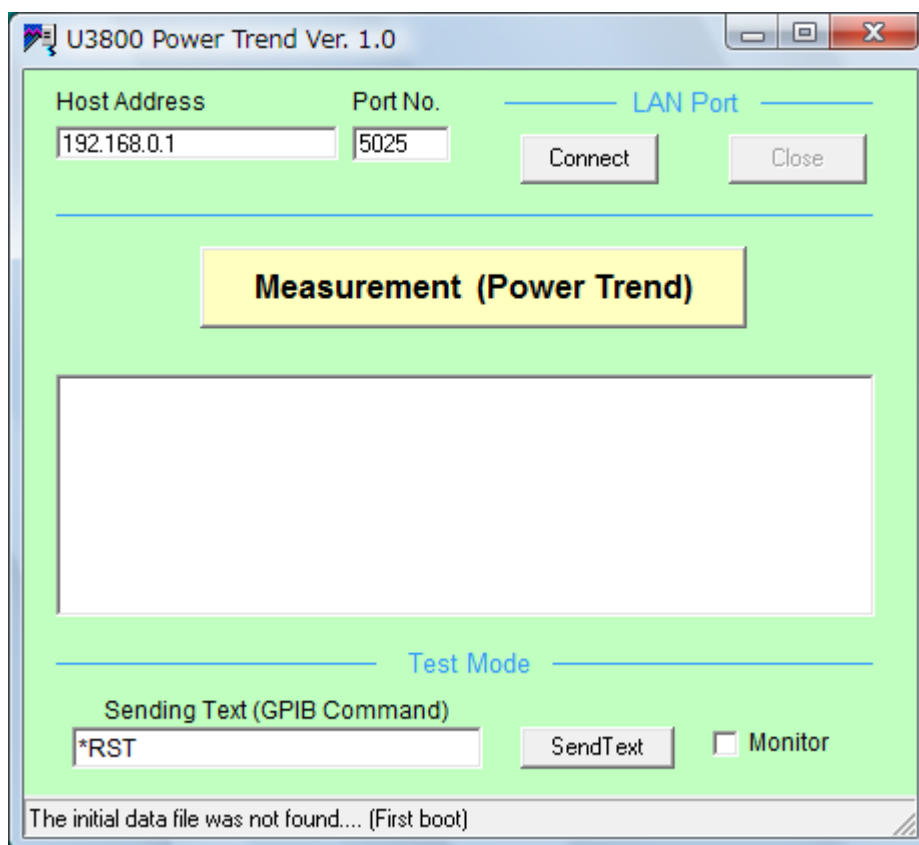
4 . LAN ケーブルを接続します。

1 対 1 の場合は、クロスケーブルを使用します。

5 . サンプル・ソフトウェアを起動します。

スタート - プログラム - U3800 Power Trend – Power Trend を実行します。

スペアナの IP アドレスを設定します。( Port No.は 5025 です )



Connect を押すと、パソコンとスペアナが接続されます

( Connected がウインドウ下位位置のメッセージ行に表示されます )

ここで、**Measurement (Power Trend)** を押します。

参考：テストモードからスペアナをアクセスすることができます。

Sending Text 欄に、GPIB コマンドを書き、スペアナに送ることができます。

( また、Monitor をチェックしておきますと、通信 LOG が表示されます )

クエリー・コマンド ( CF?等 ) を送ると、データが取得できます。

上記の状態 ( \*RST ) で SendText を押しますと、スペアナは初期化されます。

( Monitor は **Measurement (Power Trend)** を実行する前には Off にして下さい )

## 6. トレンド測定画面 (Measurement (Power Trend)を押すと表示されます)

### 測定手順

- A. パラメータを設定します。
- B. Setup SPA を押します。(パラメータがスペアナに設定されます)  
(詳細を設定したい場合は、ここでスペアナをローカルにして手動で設定します)
- C. START を押します。
- D. 測定が開始されます。測定データが表示されます。(測定時間は最大で7日程度です)
- E. 指定した測定時間が終了すると、測定データを保存し、終了のメッセージが出ます。  
(1秒間隔で1日測定すると、約10Mバイトのデータファイルになります)

### パラメータ

センター・スパン・レファレンスレベル・オフセットを設定します。

単位を選択します。(MKR1等にも共通です)

測定モードを選びます。(下記参照)

Fixed と Zone の時、測定周波数を入力します。

トータル測定時間、測定間隔時間を入れます。  
(測定時間は多少誤差を含みます)

The screenshot shows the 'Measurement (Power Trend)' window. Red circles and arrows highlight the following elements:

- Center Freq.**: 2145
- Span Freq.**: 5
- Ref. Level**: 10
- Offset Level**: 0 dB
- Unit Selection**: MHz (selected), GHz, kHz, dBm, dBuV
- Measurement Mode**: Fixed Marker (selected), Zone Search, Peak Search, Max/Min\*
- Marker Values**: MKR1: 2145, MKR2: 2143.08, MKR3: 2146.92
- CH Power**: 3.84
- Directory**: C:\Program Files\U3800 Power\_Trend
- Auto Save**: checked
- Measurement Time**: 60 min
- Time Interval**: 1 sec
- Buttons**: Setup SPA, START, STOP, Comment (One point) checkbox, Close
- Footer**: Date, Time, MK1-F, MK1-L, (L/Min\*), MK2-F, MK2-L, MK3-F, MK3-L, Comments

Close 時点の設定パラメータが保存されます。(次回に自動ロード)

コメントが書けます。チェックを押した次の測定ポイントに保存されます。

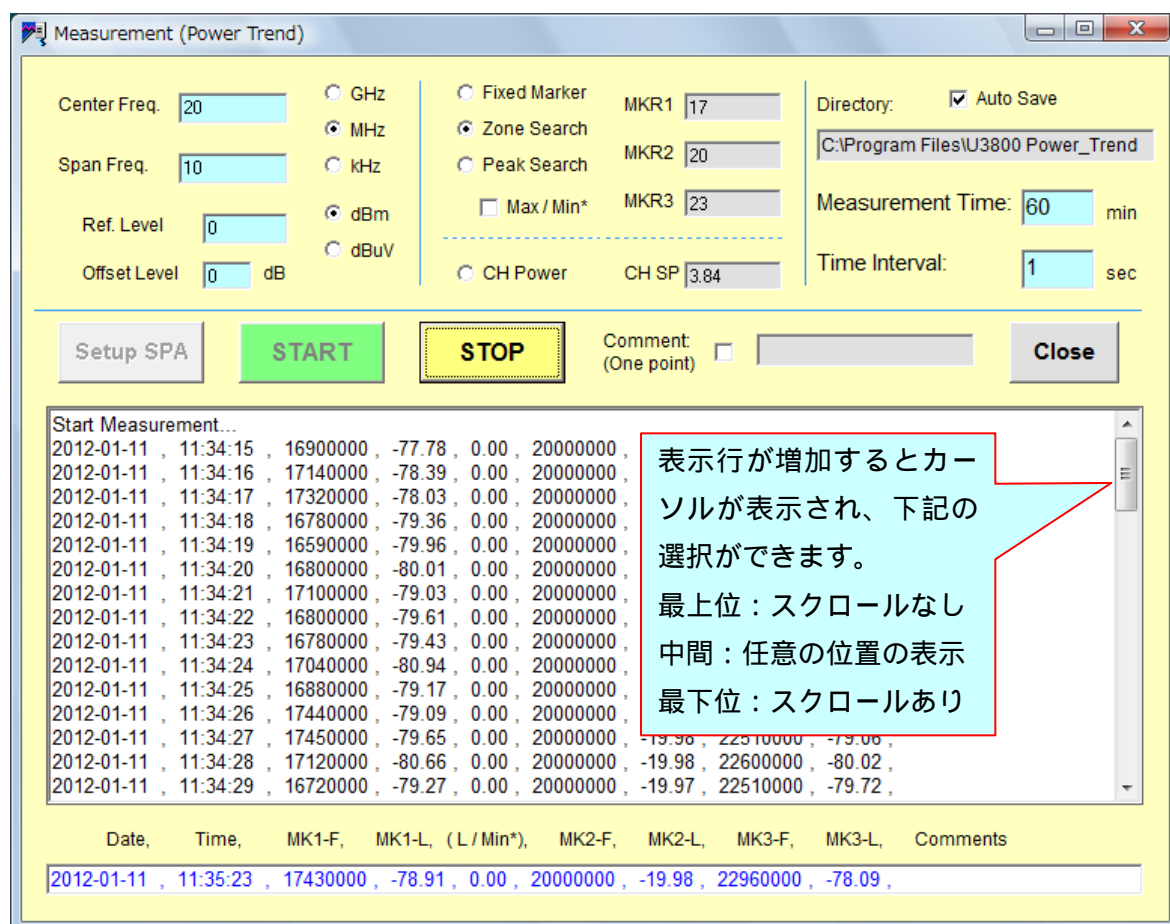
## 測定モード

- A. Fixed Marker ; 指定された周波数のレベルを取得します。(3点)
- B. Zone Marker ; 指定された周波数の1 Div 範囲をサーチします。(3点)
- C. Peak Search ; 画面全体をサーチし最大点を求めます。(3点: 指定 F 不要)  
(ABC には Max/Min が使えます。データは測定間隔の間 (Time Interval) の Max データとなります。さらに、MKR1 のみ、Min データも取得します)
- D. CH Power ; チャンネルパワーを求めます。データは1点です。  
(チャンネル幅は CHSP に入力します)

## 測定データの保存

測定終了時、指定 Dir の下位に Data+MM+DD+HH+NN.csv というファイルができます。  
(ただし Auto Save が ON の時)(MM は月、DD は日、HH は時間、NN は分)  
新しいディレクトリーに保存したい場合は、一度 C:の下位に Windows メニューからディレクトリーを作成します。そして、File 枠に C:¥作成 Dir 名を入力しておきます。自動的に指定 Dir に Data+MM+DD+HH+NN.csv が作成されます。

## 7. 測定例



## 8. 終了

測定画面から CLOSE で測定を終了します。  
初期画面の CLOSE で LAN 接続を終了し、“X” マークでプログラムを終了します。